

平成28年度 益田高校・益田翔陽高校 海外研修

12月5日(月)～10日(土)に益田高校・益田翔陽高校合同による海外研修を実施しました。今年度から訪問する国をタイへ変更し、現地の高校や大学、さらに益田市に本社をもつ企業が海外進出している工場へ見学に行きました。海外の大学・高校との交流を行うことにより幅広い視野の研究を行うとともに、英語でのプレゼンテーション能力を育むことを目的として行いました。また、オンリーワンの技術を持つ地元企業がタイへ海外進出している工場で見学・実習を行い、生徒ひとりひとりがグローバルな視点を持って地域の活性化と生徒自分自身の将来の就職等も考えながら地元とどのように関わっていくかを考えさせることも目的として行いました。

12月5日(月)は移動日であり、12月6日(火)はコンケン大学付属高等学校へ訪問しました。現地の高校生による学校紹介や科学的な取り組みについて、すべて英語での発表を聞き、質疑応答などでディスカッションを行いました。現地の高校生は英語が母国語ではないにも関わらず堂々と発表しており、また科学的な取り組みの発表は世界大会にも出場するほどの高度な発表であり、生徒たちも理解することに少し戸惑いましたが、英語で質問をするなど、積極的にディスカッションをしました。また、益田高校の生徒は益田市・益田高校の魅力と理数科が行っている課題研究の発表、益田翔陽高校の生徒は益田翔陽高校の学校紹介をそれぞれ英語で発表しました。慣れない英語での発表ながらも生徒たちは一生懸命発表し、現地の高校生からの質問にも答えることができました。同じ高校生でありながらも流暢に英語で話す現地の高校生を目の当たりにして、生徒たちは感銘を受けるとともに大きな刺激となりました。



現地の高校生による高校の魅力やコンケン県の魅力についての発表



益田高校の生徒による益田の魅力や益田高校の学校紹介



益田翔陽高校の生徒による学校紹介



益田高校の生徒による研究発表



現地の高校生との交流会



記念撮影

12月7日（水）はコンケン大学を訪問しました。医学部、農学部、教育学部の3つの学部を訪問・見学しました。

医学部では、コンケン大学医学部の紹介やキャンパス・附属病院の見学を行いました。キャンパスはとても広く、24時間開館している図書館や食堂などを見学し、日本の大学とは異なる環境を実際に肌で感じることができました。また、附属病院では男性限定の病棟や外来患者の多さなど、日本とは異なる医療機関を見学できたと同時に、日本の医療のすばらしさも感じることができました。

教育学部では、タイで唯一の日本語学科があり、そこの先生方と交流しました。日本とタイの教育の違いなどについてディスカッションをしました。教育学部は島根大学の学生と共に見学しました。

農学部は、コンケン大学が行っている畜産についての研究の講義に参加しました。講義はすべて英語で行われていましたが、積極的に質問する姿も見受けられました。



医学部の紹介



施設見学・説明



教育学部の紹介



教育学部記念撮影



農学部講義



コンケン大学博物館見学

12月8日（木）は益田市に本社をもつシマネ益田電子株式会社のタイ工場を訪問・見学させていただきました。普段では見学することができない半導体の製作行程を実際に機械に触れながら見学しました。また、タイと日本の文化の違いによる雇用政策や海外へ進出するためには何が必要かの講義を受けました。地元の企業が海外に進出していることから、本校生は非常に興味を示しており、積極的に質問していました。さらに、シマネ益田電子タイ工場で活躍する地元のタイ人との交流も行い、日本の文化を伝えたり、タイの文化を教えてもらったりと、異文化交流を行いました。



シマネ益田電子タイ工場紹介



現地で活躍する地元の方々の
交流会



日本とタイの文化の違いに対する
会社の取り組み

12月9日（金）はバンコクにある国立博物館の見学を行いました。古くからのタイの文化について、実際に目で見て感じる事ができ、日本とはまた違う風土を体感できました。



12月10日（土）は移動日で、全員無事に帰国しました。
今回の研修では、海外に行くことによって、日本の素晴らしさに気付くことができました。
また、高校生の時期から海外の文化に触れることができたのは大きな刺激となり、価値観の違いを感じる事ができたのは貴重な経験でした。